

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表： 2024年3月1日

事業所名 Plus+days平野校

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点 改善点	課題や改善すべき点を踏まえた改 善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	11	2	一人当たりの施設面積は十分だと思えます。	
	2 職員の配置数は適切であるか。	8	5	・全体を俯瞰してみる人の必要性 ・利用児だけで行動しているのこの無いように常に職員間で連携・声がけをしながら、見守りをする体制を取るようになっている。	法定人員は満たしていても、急な欠勤等不足と判断したときには、ドライバーさんにも見守り等ご協力いただき安全確保に努めています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	8	5	・事務室のものの溢れ方。歩いていると何かにぶつかる。 ・動線は、殆どが直線で取れようになっている。	児童が過ごす部屋は定期的に清掃・配置換え等行っていますが、事務所はスタッフ数、児童数が増えたことで乱雑になっていました。定期的に整理整頓する日を決めたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	4	・毎日、療育室・トイレ・洗面の清掃を行い、各部屋の安全配慮が、行われている。	毎日清掃はしていますが、子どもたちが過ごす空間で不必要なものなど乱雑に置いたままになっていたりするので定期的に確認するよう心がけたいと思います。
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	6	・出勤数の少ないパート職員までに伝わるまでの時間がかかるので、目標・情報伝達、参画できるような方法も考慮する事も必要かと思えます。	PAさん（特に勤務日数が少ない方）への情報共有は十分にできていなかった為、伝達方法を検討したいと思います。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	8	5	年1回の事業所評価は社員全員で確認し次年度に活かせるようにしている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	7	6	ホームページで公表しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	9		現在、外部評価は行えていません。今年度はぜひお願いしたいと思います。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	8	5	・同系列の他校との交流会やOJTを実施している。	同法人内での研修目的の他校勤務を予定しています。
適切 な 支 援 の 提 供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか。	8	5		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	7	6	今年度より、モンテッソーリ療育を取り入れています。個々にあった支援を提供できるよう努めたいと思います。	モンテッソーリ療育について、保護者様への研修を今年度はしたいと思います。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その	8	5	・保護者との日々の生活の連絡や困りごとに対する事の共有を密にし、その都度、面談なども行い支援方法の変更も考慮する。	R6.4より、個別支援計画書に5領域を入れることが決まりましたので、今後多角的に支援が出来るよう努めたいと思います。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	9	4	・個々の利用児の支援計画は、職員が、目視し理解し共有し、確認している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	2	年4回の大きなイベントは、職員とPAさんと計画しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	2		
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	11	2	個別活動・集団活動を組み合わせていますが、今年度は縦割り療育も計画しています。		

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7	6	当日のプログラム内容・児童の様子は短時間ですが伝えていきます。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	4	・その日の利用児の普段との違う様子・気になる行動は、送迎後に他の職員に情報共有すると共に見解を聞くようにする	毎日終礼時に当日利用の児童と、翌日利用予定児童については共有していますが、お休みのPAさんへは不十分であるため方法を検討中。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	4	・個人ファイルに添付し、担当職員の振り返りが記載されており全職員が、閲覧できるようにしているので、その事を参考に次回以降の改善点の検証を行うことができる	
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	6	7		
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	7	6	サービス担当者会議には、基本的に毎回児発管と現場スタッフ2名で参加しています。	サービス担当者会議は、ごく一部の児童しかできていない。相談支援員さんとも相談しもっと増やしたい。
	22	子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	6	7	・学童などから、連携する時に児童の様子などを聞く。	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	5		
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	7	新1年生のお子さんについては、保護者に希望を聞き、必要であれば【サポートブック】を保護者・他のデイ等関係機関と共有し作成しています	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	8	数か所の児童発達支援事業所とは連携がとれています。	数か所の事業所とは連携とれてますが、今後増やしていきたいと思っています。
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	9	一部の保育園とは、定期的に見学に伺い様子を聞いています。障がいのないお子さんとの交流は出来ていませんが、高齢者の方との交流はあります	障がいのないお子さんと活動する機会があまりなかったので今年度は作りたいです。
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	10		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	11	2	・保護者から伝えられた事を、グループで共有している。 ・連絡帳を媒介にスピーディーに情報共有を行えるようにしている。	平日、保育園等に送るお子さんは保護者と会う機会が少ないので、土曜日利用時に積極的に送迎に出るようにしようと思
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	8		
保護者への説明責任	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	3	・伝える事がある時、なるべく保護者などに、分かり易いように明るく伝えるように工夫している。	
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から	10	3		働いているお母様とは、なかなかお会いしての説明が難しくお電話でのご説明の時間があります。短時間でもお会いし説明できるように努めたいと思います。
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	1	定期的にはできていませんが、お母様自身がしんどくなられた時には、すぐに対応できるようにしています。	
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	8	保護者会等で来ていただいた時には自己紹介いただき、各々連絡先交換等されています	
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	・何かあった時には、すぐにグループで共有し伝えるようにしている。	
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2		

ア	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13	0		
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	1	子どもの特性に合わせたツールを利用し伝えるようにしています。	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	6	・近所のデイサービスと定期的にイベントを開催し世代間交流ができています。	
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施	8	5		保護者様への説明は不十分です。今年度は保護者会などで周知できるようにしたいと思います。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	3	年2回は必ず行っています。非常食を食べてみたり、火を使わず調理する方法など体験してもらっています。	
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	12	1	・事務所にある連携の記録を必ず見るようにしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	1		
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	5	年2回の研修は行っています。	
45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援事業所に記載しているか	6	7	痲痺等あった時には都度保護者と相談し対応を検討しています。		